

えさせたことであります。十年の知己が、親戚のような誼しさが、わずか一つの共同事業を通じて生まれるのであります。「ロータリーは一つ」という言葉を本当に実感するのであります。

又、地区内各クラブでもこの3年間に新発田R.C.、太田南R.C.、高崎北R.C.、高崎南R.C.、伊勢崎R.C.などが次々このマッチンググラント事業に取り組み、素晴らしい成果をあげました。

大変喜ばしい傾向であると思っております。どうかこちらのクラブに於かれましても、どうかよろしく願い申し上げます。

長々となってしまいましたが、大体、以上申し上げました事が世界理解月間に因んで私が申し上げようと思っておりました全てであります。

よく言われますように、人様にお話を申し上げる場合は、時々ジョークを交えて笑いを取り、皆様を飽きさせないのが「コツ」であると申しますが、私にはそれがどうも上手く出来ません。生来、不真面目であり、好い加減であるはずの私が、人様の前に立つと、どういう訳か真面目らしいお話ばかりに終始してしまいます。まさに私の不徳のいたすところであり、申し訳なく思っております。

皆様には、長時間私の面白くもないお話しにお付き合い頂きました事に、心からお詫び申し上げますと共に、それにもかかわらず尚ご静聴頂きました生に、心から感謝申し上げます私の話を終了させて頂きます。どうもありがとうございました。

会員の声： 2000年に思う 梨木 建夫会員

最近、年を経てきたせいか、やたらに「役」をおおせつかる事が多くなってきたように思う。社会的関心の高まりや社会環境の変化を踏まえ、21世紀へ向けての課題を再認識しながら、まちづくり委員や組合活動、又自治会等々いろんな面に対応をすべく、お付き合いをさせていただいております。頼りない自分自身であったのですが少しづつ他の先輩方のあらゆる事への取り組む真摯な姿勢により驚きかつ刺激を受け確実に変わって来ているように思います。これらの要因の一つとして、なんといってもロータリークラブに入会させていただいたのがキッカケで変化し多くの出会いとチャンスを与えてもらった事に他なりません。

心から感謝申し上げます。これからも社会の流れはどんどんと確実に変わっています。私もまだまだ失敗を恐れず刺激受け学び少しづつでも社会の一員としての自覚を持って貢献できることがあればと考えています。

しかし、まだまだ世の中にはいろんな重圧が多く、売名行為だと批判されたり誹謗中傷も多くありますがめげずに情熱と強い意志を持って少しでも良い方向に変えていければと思っております。ぜひ末永く今後とも良いお仲間としてお付き合いを頂き、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

感謝

2月15日例会： 卓話「無題」 落合益夫会員

2月22日例会： 夜例会 卓話 坂本勝司会員

於三条ロイヤルホテル 点鐘19:00

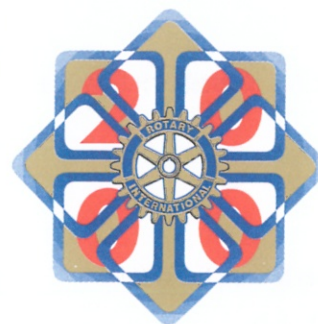
2月29日例会： 卓話 佐藤文夫会員

3月7日例会： 卓話「私の履歴書～人生の缶詰～」 山上茂夫会員

3月14日例会： 卓話 中條耕二会員

3月21日例会： 夫人同伴夜例会

3月28日例会： 卓話 大野新吉会員



三条北ロータリークラブ週報

ロータリー2000:
活動は一堅実、
信望、持続

例会日	2000. 2. 8
累計	No 641
当年	No 28

国際ロータリー会長 カルロ・ラビツア 第2560地区ガバナー 高木貞一郎

会長／佐藤 義英

幹事／長谷川 恵慈

SAA／山中 正

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 「世界理解月間」卓話「ロータリーの青少年交換と世界社会奉仕について」

R. I 第2560地区国際奉仕大委員長 岡村本治様

出席： 本日の出席 52名中 36名

先々週の出席率 52名中 44名 84.62% (前年同期90.2%)

先週のメークアップ： 2月2日 三条RCへ 西村 護さん

3日 見附RCへ 淵岡 茂さん

4日 セブグアダルーペRCへ 山上茂夫さん

7日 三条南RCへ 中條耕二さん

ビジター： なし

ゲスト： R. I 第2560地区国際奉仕大委員長 岡村本治様 (伊勢崎RC)

会長挨拶： 佐藤義英



本日はお客様に第2560地区国際奉仕委員長の岡村本治 (伊勢崎RC) 様ようこそ遠い所からおいでいただきまことにありがとうございました。

先日の日曜日久し振りにゴルフを楽しんでまいりました。

知人が観光バス会社を初めまして。その開業記念ゴルフツアーということで、新車のデラックスバスで福島のいわきまで行ってきました。曇り空ではありましたが、こちらよりはあたたかく、大変良かったです。

今月は「世界理解月間」となっております。

そこで国際奉仕委員会の主幹として米山国際奉仕委員長のもと、国際奉仕大委員長の岡村様にお願いいただき御指導お願い致しました。

我クラブでも現在1年交換留学生を推せん中でありまして、ロータリー財団と米山奨学寄付に対

しましても目標額にはピンチの状況にあります。合わせてアドバイスよろしくお願い申しあげます。

幹事報告： 長谷川幹事

- ・ロータリーの友委員会より

2000～2001年度版全日本ロータリークラブ会員名簿、手帳のお買い上げのお願い

- ・2000～2001年度第四分区アシスタントガバナー長谷川日吉（吉田RC）より

2000～2001年度第四分区会長幹事会の開催について

日時 平成12年3月5日（日）PM5：00

会場 割烹橋畔楼（吉田町）

- ・地区幹事より 青少年奉仕委員会名称変更のお知らせ

2000年7月新年度より「新世代奉仕委員会」と名称変更となります

- ・津久見RC職業奉仕委員長より 「ロータリーで言う職業奉仕とは」の恵送について

委員会報告： 親睦活動委員会

- ・3／21（火）夫人同伴夜例会「ウェスタンの夕べ」の連絡

早目に出欠確認をして人数を把握したいので協力をお願いします。

ニコニコボックス：	8日現在累計 801,470円
-----------	-----------------

佐藤義英君 2560地区岡村国際奉仕大委員長様遠い所大変御苦勞様です。よろしく御指導お願い致します。

長谷川恵慈君 2560地区岡村国際奉仕大委員長様遠い所大変御苦勞様です。よろしく御指導お願い致します。

落合益夫君 岡村国際奉仕大委員長さんご指導よろしくお願いします。

早川龍雄君 国際奉仕大委員長の岡村本治様の卓話宜しくおねがいします。

久保博君 岡村国際奉仕大委員長さんご指導よろしくお願い致します。

米山忠俊君 伊勢崎クラブから本日のお客様岡村大委員長さんいそがしい処ようこそおいで致しました、御指導宜しくお願い致します。

梨本清一君 岡村大委員長のご来訪を心より歓迎し感謝します。

山崎勲君

阿部誠一郎君 コメントナキ協力。

芦田義重君 BOXに協力。

- ・ ※ 1月の話題賞は早川龍雄会員でした

- ・ ※ 岡村大委員長を歓迎して全員の方からR財団・米山BOXにご協力をいただきました。

ます。

付け加えるなら、今年度当地区では、地区内全クラブの国際奉仕委員長さんに、この「W.C.Sプロジェクト交換一覧表」とW.C.S活動の具体的実施方法を分かり易く解説した「世界社会奉仕要覧行動への指針」（742-JA）の2冊の出版物を既に配布いたしております。

毎年2月はロータリーの世界理解月間です。この月間に因んで、さあ皆様、明日からでもこの活動の第一歩を踏み出してください。

貴方の一歩が多く涙を拭うことになるのです。

という風に掲載させて頂きました。そして、この2冊の出版物は、すでにこちらのクラブの米山委員長さんのお手元にありますので、どうかご参考にして下さい。

しかしながら、ロータリーの世界社会奉仕活動にはもういくつかの具体的活動が示されております。只今申し上げましたのは、W.C.S活動の中の最も代表的な活動でありまして、世界社会奉仕プロジェクト交換活動、つまりW.C.Sエクスチェンジ（W.C.S.E）と呼ばれております。先程申し上げましたように、この活動は援助要請を地区やクラブが登録して、その提供を受けるクラブを待つという制度もあります。これは現物拠出情報ネットワークと呼ばれております。これはその名の通り、主に現物の寄贈品の授受が主体となります。この制度には年4回登録することが出来ます。

又その他にも、W.C.S活動にはW.C.S人材ネットワークとか、災害の急報システムと災害救助活動とか、大きくは飢餓救済活動とか多くの活動がありますが、本日は時間の関係上、これらについては省略させて頂きます。最後にもう1つだけ、素晴らしいW.C.S活動をお話させて頂いて終わりにしたいと思います。

W.C.S.M.Gと申しますが、このM.Gはマッチンググラント（Matching（つり合う）、Grants（補助金））の略でありまして、通常この活動を単にマッチンググラントとだけ言っておる方もあります。

この活動は、二カ国以上の地区やクラブが共同してW.C.Sの人道的项目を開発して実行に移す場合は、R財団よりその事業資金と同額の補助金を頂くことが出来る制度なのであります。これはまあ考えて見れば、クラブのR財団委員長の呼び掛けで皆様が毎年R財団へ多くの寄付をなさっている訳であります。これらR財団へ集まった寄付金を今度は皆様が使うことが出来るというシステムなのであります。つまり皆様は、寄付するだけでなく、そのお金を使って初めてロータリーが行っている奉仕活動の実態を知ることぬもなるのであります。

当地区では今まで、このマッチンググラント活動はほとんど実施されておられませんでしたが、数年前から先ず地区の委員会がこの事業に取り組みまして、皆様のクラブの手本となるようにと活動いたしました。それはトルコのイスタンブール市内の4つのロータリークラブと当地区との協同事業でありまして、重田ガバナー年度、吉田ガバナー年度、久保田ガバナー年度の3年間で約10個のプロジェクトを完成させました。

当地区からの合計拠出金は約500万円でした。そしてトルコの4つのクラブからの拠出金も合計500万円でありました。

従いまして、この双方の拠出金の合計額と同額の補助金、1000万円がR財団より助成された訳であります。つまり当地区からは500万円の拠出金でありましたが、実際に実行さるたこれらの人道的项目の合計額は2000万円の事業という大きな成果を得ることが出来たのであります。

そして何よりも楽しかったことは、これらの事業を進めていく中で、相手国のロータリアン達と親しく語り合い、議論し、そして事業の完成の喜びを分かち合うと共に、お互いの真の友情を芽生